

# 女子体操競技情報 18 号

(財)日本体操協会  
女子体操競技強化本部  
審判委員会  
女子体操競技審判部

日本体操協会では、女子体操競技強化本部と審判委員会女子体操競技審判部による 2012 年強化指針および、採点指針をここに通達し、2012 年 4 月よりの適用といたします。

## 43 回世界体操競技選手権大会(東京)を終えて

女子体操競技強化本部  
本部長 塚原千恵子

東京大会は団体 8 位入賞を目指してロンドンオリンピックのチーム出場権をとる大切な大会であった。日本女子は団体 5 位という結果でロンドンオリンピック出場権を獲得した。イギリス、ドイツ、イタリア、フランス、カナダは強化のあとが見られ、将来日本にとって強敵国であろう。

団体 5 位になった日本はベテラン 4 名と新人 2 名によるベストのチーム構成で、競技力の高い演技と失敗がなかったことが勝因である。途中跳馬で種目別決勝を狙っていた飯塚選手が助走でつまずくアクシデントがあり、寺本選手に交替した。3 種目終了時点では団体 9 位で 8 位入賞が難しくなったが、4 種目の段違い平行棒でトップの新竹選手が 14.233 でスタートを切り、続く 4 選手が全て着地を決め一気に 5 位になった。個人総合では鶴見選手、田中選手が出場した。鶴見選手が段違い平行棒でミスをして 15 位、田中選手がゆかでミスがでて 20 位で上位進出ができなかった。種目別決勝では段違い平行棒で寺本選手 5 位、鶴見選手が 7 位だった。

団体予選 5 位で種目別の世界ランクで跳馬 (14 位)、段違い平行棒 (2 位)、平均台 (5 位)、ゆか (10 位)、決勝 7 位で跳馬 (6 位)、段違い平行棒 (5 位)、平均台 (4 位)、ゆか (8 位) であった。今後の強化対策として跳馬とゆかのランクを上げる努力をしなければならない。跳馬は D スコアを上げ、ゆかは E 難度以上の技を構成に入れ、D スコアを上げることができればロンドンオリンピックでは戦うことができない。

団体でメダルをとる為には今大会団体 3 位の中国との 6 点の差をどう縮めるかが今後の強化目標となり、跳馬においてチーム中 3 名は D スコア (5.8) 以上の跳躍が必要である。

今後の日本の課題は姿勢欠点の少ない美しい体操を継続して強化し、更に D スコアを上げることが目標に団体 3 位を目指し、メダル獲得することにある。その為には国内内規を見直し D スコアの高い演技に加点を与え、アメリカ・ロシア・中国・ルーマニア上位国と D スコアの差がないように強化していかなければならない。

この目標を達成するに当たり審判員との情報、指針等の連携を図り目標に向かって強化していきたい。皆様のご協力をお願いしたい。

## 2012 年強化指針

### 跳 馬

東京大会では日本代表選手 6 名中ロンダート後転とび後方伸身宙返り 2 回ひねりが 1 名しかいない為、他 3 種目と比較すると特に弱いと感じられた。ロンドン大会では代表の 5 名中 3 名は D スコア (5.8) 以上の跳躍が必要である。早急に跳馬の強化を計り、国内内規によってロンダート後転とび後方伸身宙返り 2 回ひねり (5.8) 以上の跳躍に対して加点を採用したい。実施において、着手時の姿勢不良、肘のゆるみ、突きのない早いひねりや脚の乱れなどない高さのある雄大な跳躍と高さのある安定した着地姿勢を目指して強化していきたい。

### 段違い平行棒

基本技における倒立姿勢での身体の反り、肘のゆるみ、脚の乱れがない実施とスピードのある後ろ振り上げ倒立を強化していきたい。倒立やシュタルダーにおけるひねり技において、早いひねりによる体の反りや脚の乱れが見られるので正しい倒立姿勢でのひねりが求められる。D スコアの高い変化のある構成で組合せの加点がとれるような工夫が必要である。雄大で回転不足のない空中局面技が要求される。終末技においては D 難度以上で高さや安定した着地を目指して強化していきたい。

### 平均台

立ち姿勢が美しく演技全体の安定性、正確な実施が要求される。つま先や膝が美しく、動きの強弱やリズムの変化が求められる。特にジャンプの高さと 180 度以上の開脚度が求められ D 難度以上のダンス系が必要である。羊とびや交差輪とび、交差ジャンプ 1/2 ひねりなどの不正確な実施が多く見られるので正確に実施することが要求される。2 回ターンやターンとアクロバットの連続など個人的で変化のある構成が要求される。終末技は D 難度以上で体勢の高さのある安定した実施を目指して強化したい。

## ゆか

14点台を目指すにはアクロラインの中に E 難度以上の宙返りと E 難度を含む組み合わせが必要である。国内内規により E 難度以上のアクロバットに対して加点が与えられる。着地時においては着地減点のないアクロバット系からのジャンプを連続させる工夫が必要である。アクロバット系からのジャンプ連続は D スコアを上げる要因にもなり、演技の流れも美しく個性的な構成が必要となる。アクロバット系、ダンス系（ジャンプ）は高さで安定した着地姿勢が要求される。演技全体が曲とマッチした個性的で芸術的な構成になるよう強化していきたい。音楽と動きが合わない演技や、動きの少ない構成は減点の対象となる以上、顔の表情も含めた芸術性の高い演技を目指したい。

## 2012年度 選考会内規

(内規作成理由)

日本女子体操は世界選手権東京大会における種目ごとのランキングで跳馬(14位)、段違い平行棒(2位)、平均台(5位)、ゆか(10位)で予選5位、決勝は跳馬(6位)、段違い平行棒(5位)、平均台(4位)、ゆか(8位)で7位であった。ロンドンオリンピック大会では団体5位から更にメダルを目指すためにも国内内規を下記のように見直し、全日本選手権大会(個人総合)、NHK杯で採用する。

### VT

- ・ Dスコア 6.30以上の跳躍 +0.50  
例 前転とび前方伸身宙返り 1回半ひねり (D 6.30)  
    ロンダート後転とび後方伸身宙返り 2回半ひねり (D 6.50)
- ・ Dスコア 5.80以上の跳躍 +0.30  
例 ロンダート後転とび後方伸身宙返り 2回ひねり (D 5.80)  
    前転とび前方伸身宙返り 1回ひねり (D 5.90)  
\* 超大過失 (-1.00) には加点がつかない。  
    加点は Dスコアに加算される。

### UB

- ・ Dスコア 6.20 Eスコア 8.00以上 +0.30  
\* 加点は最終スコアに加算される。

### BB

- ・ Dスコア 6.10 Eスコア 8.00以上 +0.30  
\* 加点は最終スコアに加算される。

### FX

- ・ F難度以上のアクロバット系要素 +0.30
- ・ E難度のアクロバット系要素 +0.20  
例 F、E、C+C、D → +0.30  
    G、F、D+A、D → +0.30  
    E、E、C+C、D → +0.20  
\* 1演技中の E 難度以上の 1 要素に対してのみ加点される。  
\* 超大過失 (-1.00) には加点がつかない。  
    加点は Dスコアに加算される。

## 2012 年採点指針

審判委員会女子体操競技  
審判部

### 全体として

2009年版採点規則および、2012 年度「強化指針」に基づき、以下の 3 点について重要採点指針とする。

特にゆかの芸術性においては「選手の個性にあった独創的な振り付け」、「音楽と動きの調和、関連性」を強く求める。平均台、ゆかでは、芸術性が重要な課題であることを理解し、常に念頭に入れて取り組んでもらいたい。

- (1) 「平均台」「ゆか」については、立ち姿勢を含めた美しい体線での実施と芸術性の高い演技
- (2) 高さスピード・迫力のある雄大な演技
- (3) 体勢の高い安定した着地

### 跳馬

#### 【指針】

- －Dスコアの高い跳躍技の実施
- －高さ距離を伴うスピード・迫力のある雄大な実施
- －つき手を伴う第 2 空中局面の雄大さと正確性
- －姿勢欠点のない美しい体線での実施
- －体勢の高い安定した着地

### 段違い平行棒

#### 【指針】

- －演技全体を通して、振幅の大きさとスピード・迫力のある実施
- －空中局面を伴う技での雄大な実施
- －身体の反り、肘の曲がり、膝やつま先の緩みのない美しい体線での実施
- －正確な倒立姿勢、後ろ振り上げ倒立での姿勢欠点のないスピードのある実施
- －体勢の高い安定した着地

## 平均台

### 【指針】

- －立ち姿勢を含めた技と技の間の動きにおいても常に美しい姿勢での演技
- －アクロバット系、ダンス系の技での正確な実施
- －演技全体を通して姿勢欠点がなく安定感のある、リズムの変化やスピード・迫力の伴った演技
- －全身を使った表現力のある豊かで魅力的な演技

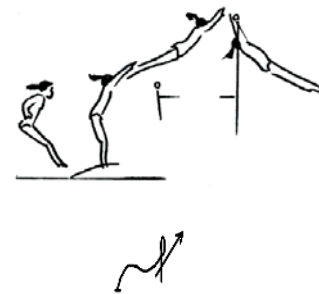


## ゆか

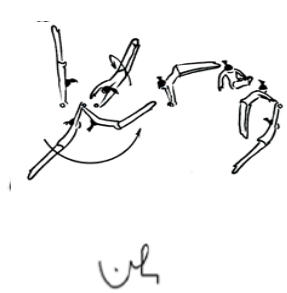
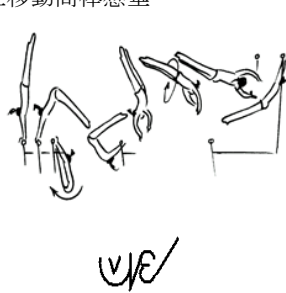
### 【指針】

- －立ち姿勢を含めた技と技の間の動きにおいても常に美しい姿勢での演技。
- －アクロバット系、ダンス系の技での正確な演技の実施
- －スピードや迫力のある雄大な演技の実施
- －演技面を大きく使用した躍動感のある演技
- －音楽の特徴をとらえた独創的な振り付け
- －顔の表情まで含めた全身を使った表現力豊かで魅力的な演技
- －体勢の高い安定した着地

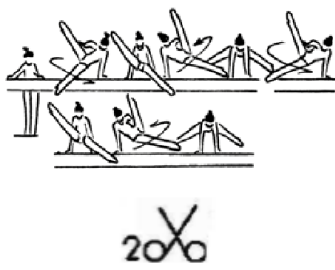
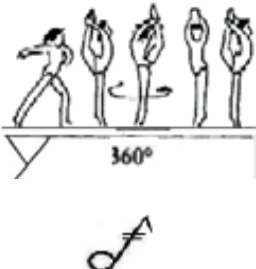
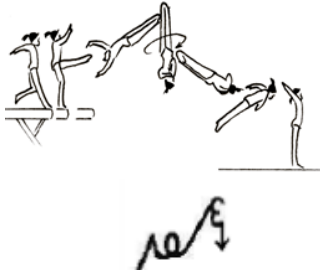
# 2011 年世界選手権東京大会<新技>

## 段違い平行棒

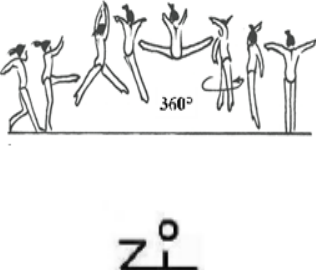
<p>1. 306 C</p> <p>低棒支持なし閉脚伸身とび越し ～高棒懸垂</p> 	<p>3. 503 (追加)</p> <p>トゥカチェフ 1/2 ひねり</p> 	<p>4. 508 (追加)</p> <p>低棒外向き ～後方閉脚浮腰回転倒立 ～背面とび出し上移動高棒懸垂</p> 
---	--	--

<p>3. 403 (追加)</p> <p>前振り出し～1/2 ひねり ～屈身とび越し～高棒懸垂</p> 	<p>5. 509 (追加)</p> <p>低棒外向き ～後方屈身足裏支持回転倒立 ～背面とび出し 1 回ひねり 上移動高棒懸垂</p> 
--	--

平均台

<p>1. 203 B 開脚旋回 2 回</p> 	<p>3. 402 (追加) 後ろへ上げた浮脚を両手で保持した 1 回ターン</p> 	<p>6. 507 E 台の端へ、アウエルバツハ伸身宙返り 1 回ひねり下り</p> 
--	--	---

ゆか

<p>1. 405 D ジョンソン 1 回ひねり</p> 
--

**\* FIG よりの追加内容**

種目	内 容
UB	<p><b># 2.404</b> 承認されるための必要条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前方浮支持回転後の後ろ振り上げ倒立は閉脚でなければならない。</li> <li>・ もし技が終了するまでに後ろ振り上げ開脚倒立（180 度ひねりを伴う／伴わない）を行った場合－1 つ下の難度となる。</li> </ul>